

保育所実習前の音楽指導に関する一考察

－授業カリキュラムの検討－

田中 慈子

A Study of Music Instruction before Nursery School Practice Teaching － Examination of a Lesson Curriculum －

Yasuko TANAKA

I はじめに

本学では年々ピアノ初学者の割合が増え続け、今では入学者の約40%強を占める。現状を考慮して平成25年度よりカリキュラムの見直しを行っている。新カリキュラムで学んだ学生が2年生となり、今年5月から6月に幼稚園教育実習を3週間、7月に保育所実習Ⅱを2週間、実践実習を経験した。

本研究は、新カリキュラムで学生が身に付けた力を、「ピアノ奏法Ⅱ」（2年次前期配当、選択科目）における授業内での取り組み状況と保育所実習Ⅱ終了後に実施したアンケート用紙調査結果を分析することで振り返りながら、本学のカリキュラムが保育現場で求められる音楽活動に適しているか、今後の指導を効果的に実施するために行ったものである。また、ピアノ個人レッスンは複数の教員で担当するため、本研究を通して全教員が共通理解を図る機会としたい。

なお、昨年は拙論「幼稚園教育実習前の音楽指導に関する一考察 - 幼小連携に対応できる保育者養成をめざして -」¹⁾にて、幼稚園教育実習期間中に実習園で歌われていた幼児歌曲の調査結果を報告したため、本論では保育所実習Ⅱの調査結果を分析することとする。

II 方法

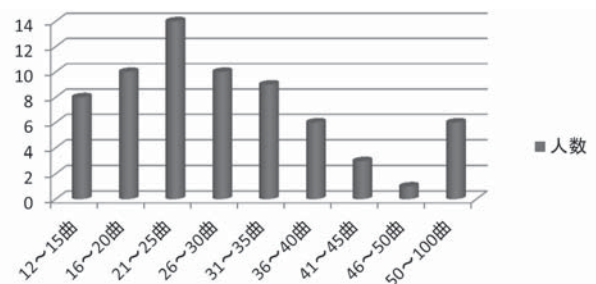
1. 本学のカリキュラムと1年次の到達目標

平成25年度入学生より実施している本学のカリキュラムと1年次の到達目標を示す。本学では、入学当初から幼児歌曲弾き歌いとピアノソロ曲を並行して

学ぶことで、ピアノの基礎的技術を身に付けながら無理なく幼児歌曲のレパートリーを広げられるよう工夫している。

幼児歌曲は、保育現場でよく使われる曲を「こどものうた200」、「続こどものうた200」（いずれもチャイルド社刊）より119曲厳選し、難易度をつけてリスト化したものを使用している。〈季節（春・夏・秋・冬）〉、〈生活〉、〈行事〉、〈たのしい〉、〈仏教曲〉の5カテゴリーから構成されており、リストはパートⅠ55曲とパートⅡ64曲の2種類ある。パートⅠの方がパートⅡに比べ、より重要性が高い選曲となっており、難易度はAからD（易から難）の4段階で設定されている。このリストに沿って、学生は自分のレベルにあった幼児歌曲を学び、レパートリーを拡大していく。1年次「音楽基礎演習」（1年次前期配当、免許必修科目）、「ピアノ奏法Ⅰ」（1年次後期配当、免許必修科目）、2年次「ピアノ奏法Ⅱ」を終了した時点で、学生がレパートリーとした曲数は表1の通りである。

表1 幼児歌曲レパートリー曲数



また、ピアノソロ曲の1年次の最低到達目標はバイエル104番以上を終了することと定めている。

2. 「ピアノ奏法Ⅱ」の授業方法と内容

幼稚園教育実習と保育所実習Ⅱに向けた音楽活動の指導を「ピアノ奏法Ⅱ」(1コマ90分)の授業にて行った。選択科目であるものの実習事前指導を行うため、2年生のほぼ全員にあたる67名が履修した。授業期間中に幼稚園教育実習(5/12-6/21のうち3週間)と保育所実習Ⅱ(7/7-7/26のうち2週間)を実施するため、平成26年4月4日から7月30日までの期間に、授業を週2回のペースで変則的に開講した。学生は集団授業とピアノ個人レッスンを週に1回ずつ受講する。

授業は集団授業とピアノ個人レッスンで構成されており、全15回の授業内容は以下の通りである。

- (1) 集団授業(90分を8回)
 - ① 手遊び: グループ発表とレパートリー拡大
 - ② 身体表現教材: 基礎的な動き、自由表現教材
 - ③ 初見対策: 読譜力強化
 - ④ コード伴奏付け
- (2) ピアノ個人レッスン(90分を6回、1人あたりのレッスン時間30分)
 - ① 幼児歌曲を5曲以上クリアすること
 - ② レパートリーとなり得るピアノソロ曲を1曲暗譜で仕上げる
- (3) 中間実技試験と振り返り(90分を1回)
- (4) 期末実技試験(90分を1回)

3. アンケート調査方法

アンケート調査は、「ピアノ奏法Ⅱ」を履修し保育所実習Ⅱを終えた学生を対象として、平成26年7月29日に実施し、受講者67名中66名から回答を得た。

アンケート調査の質問内容であるが①実習前のオリエンテーションにて頂いたピアノの課題曲数と曲名、②実習中歌われていた曲と担当した幼児歌曲名、③園で行われていた音楽活動の内容(リトミック、手遊び、合奏、その他)、④実習を終えた感想(良かった点、反省点、大学の授業に希望すること等)の自由記述を求めた。

Ⅲ 結果および考察

1. 「ピアノ奏法Ⅱ」における学生の取り組み状況

- (1) ピアノ個人レッスンの取り組み状況
「ピアノ奏法Ⅱ」の授業内に一人当たり30分の個人

レッスンを合計6回行い、その間学生が合格した幼児歌曲数は表2の通りである。

表2 中間試験までに学生が合格した幼児歌曲数

H25年度合格曲数	人数	H26年度合格曲数	人数
2曲	5	3曲	26
3曲	3	4曲	8
4曲	36	5曲	9
5曲	10	6曲	9
6曲	10	7曲	4
7曲	3	8曲	6
8曲	5	11曲	1
14曲	1	14曲	2
不明	1	15曲	1
		25曲	1
合計	74	合計	67

レッスン記録カルテから、多くの学生が中間試験の課題である幼児歌曲を3曲と、期末試験の課題であるピアノソロ曲1曲を並行して練習していたことがみてとれた。なお、昨年度の中間試験は「おはよう」、「おべんとう」、「おかえりのうた」の生活曲3曲と夏の季節にちなんだ曲1曲の合計4曲、期末試験は幼児歌曲3曲を課題とし、ピアノソロ曲は課せなかった。

今年度、試験課題を変更した理由は次の2点による。一つに、昨年度のアンケート調査結果を踏まえて、1年次の後期授業内にて既に生活曲3曲をレパートリーにできていること、二つに、就職採用試験が年々早まってきていることを鑑み、夏休み前にピアノソロ曲の技能を一層磨くことが求められることによる。

(2) 中間試験の実施状況

- ・実施日: 平成26年5月9日
- ・受験者数: 67名
- ・課題: 本学で使用している幼児歌曲リスト全119曲の中から、これまでの試験にて選択したことのない幼児歌曲、もしくは実習園で頂いた曲より3曲選択し当日1曲指定。

中間試験は第11回目の授業内に実施し、その後試験の振り返りを行った。学生が選択した曲目は表3の通りである。課題が異なるため一概に比較はできないが、昨年度は試験選択曲の難易度が二分化していたの

表3 中間試験で学生が選択した幼児歌曲ランキング

平成 25 年度				平成 26 年度			
ランキング	難易度	幼児歌曲名	人数	ランキング	難易度	幼児歌曲名	人数
1	A	みずあそび	22	1	A	はをみがきましょう	10
2	D	あめふりくまのこ	9	2	C	にじ	9
3	A	かたつむり	7	2	B	めだかのがっこう	9
4	D	さんぽ	6	2	B	南の島のハメハメハ大王	9
5	A	とんぼのめがね	4	5	D	あめふりくまのこ	8
6	A	かえるの合唱	3	6	B	世界中のこどもたちが	7
6	B	南の島のハメハメハ大王	3	6	C	とけいのうた	7
6	A	おとうばん	3	8	C	うみ	5
9	C	おばけなんてないさ	2	8	C	おもちゃのチャチャチャ	5
9	A	はをみがきましょう	2	8	B	しゃぼんだま	5
11	D	アイスクリームのうた	1	8	B	小さな世界	5
11	B	しゃぼんだま	1	8	A	ねね	5
11	C	とけいのうた	1	8	A	みずあそび	5
11	C	バスごっこ	1	14	D	アイスクリームのうた	4
自由曲を用意できなかった学生			2	14	B	うれしいひなまつり	4
				14	C	おばけなんてないさ	4
				14	D	おはながわらった	4
				14	B	おもいでアルバム	4
				14	A	かたつむり	4
				14	A	とんぼのめがね	4

注) アルファベットは難易度(A 易→D 難)を示す。

に比べ、今年は選曲した難易度も適度にばらつきがあり、1年次にある程度のレパートリーを持てたことが伺える結果となった。

履修者 67 名全員が受験し、多種多様な幼児歌曲を弾き歌いしきったことは評価できる。また、昨年の「ピアノ奏法Ⅱ」の中間試験終了後のピアノ個人レッスン指導教員との意見交換の場で、一番問題となったのが歌声の小ささであったが、入学当初よりピアノ指導とともに歌うことにも力を入れて指導した成果があらわれ、歌とピアノのバランスを意識を持って弾き歌いができている学生が多かった。

一方で課題も見つかった。「さんはい」と歌い始めに声かけをし、1番はクラス全員で、2番は演奏者が一人で歌う試験スタイルを1年次前期の期末試験より実施しているため、クラスの雰囲気試験の出来に大きく影響する。元々能力的には大差がないと思われる二クラスであったが、心から楽しんで歌い切ったクラスではピアノを苦手とする学生も生き生きと弾き歌い、そうでないクラスではピアノを得意とする学生でさえも力を発揮しきれない傾向にあった。1年次より集団授業内において積極的にクラス全員で様々な幼児

歌曲を歌ってきたが、たとえピアノが弾けない曲であっても全員が音楽を「楽しんで」歌えるよう指導を強化する必要があることがわかった。

(3) 期末試験の実施状況

- ・実施日：平成 26 年 7 月 30 日
- ・受験者数：67 名
- ・課題：ピアノソロ曲を 1 曲（暗譜）

1年次のピアノソロ曲の最低到達目標がバイエル 104 番以上であるため、期末試験においてブルグミュラーやソナチネを演奏した学生がほとんどであった。

(表 4)

保育所実習Ⅱを終えた後、個人レッスンを受けることなく期末試験を迎えたため不安な状態であったが、1年次での経験を活かして人前で弾けるレベルまで自力で仕上げてきた。このことは試験終了後の教員による講評の中においても評価されたが、同時に、夏休み中、曲とじっくり向き合い完成度を高めるようアドバイスがなされた。

履修生全員が試験を受験したが、春休み期間に練習していた学生と、授業開始後から練習し始めた学生と

表 4 期末試験で学生が選択したピアノ曲名と選択人数(「ピアノ奏法Ⅱ履修生」全 67 名)

選択ピアノ曲目	選択人数
*バイエル教則本	4
バイエル No.81	1
バイエル No.104	3
*ブルグミュラー 25 の練習曲	20
ブルグミュラー作曲 すなおな心	1
ブルグミュラー作曲 アラベスク	6
ブルグミュラー作曲 無邪気	2
ブルグミュラー作曲 せきれい	1
ブルグミュラー作曲 アルプス地方の踊り	1
ブルグミュラー作曲 バラード	7
ブルグミュラー作曲 タランテラ	1
ブルグミュラー作曲 乗馬	1
*ソナチネ・アルバム第一巻	35
クーラウ作曲 ソナチネ Op.20 No.1 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 1 番	1
クーラウ作曲 ソナチネ Op.55 No.1 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 4 番	5
クーラウ作曲 ソナチネ Op.55 No.1 第 2 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 4 番	3
クーラウ作曲 ソナチネ Op.55 No.2 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 5 番	1
クーラウ作曲 ソナチネ Op.55 No.3 第 2 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 6 番	1
クレメンティ作曲 ソナチネ Op.36 No.1 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 7 番	7
クレメンティ作曲 ソナチネ Op.36 No.1 第 3 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 7 番	3
クレメンティ作曲 ソナチネ Op.36 No.2 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 8 番	2
クレメンティ作曲 ソナチネ Op.36 No.3 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 9 番	4
クレメンティ作曲 ソナチネ Op.36 No.3 第 3 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 9 番	2
クレメンティ作曲 ソナチネ Op.36 No.6 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 12 番	1
ハイドン作曲 ソナタ Hob.XVI:35 第 3 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 13 番	1
モーツァルト作曲 ソナタ K.545 第 3 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 14 番	1
ベートーヴェン作曲 ソナタ Op.49 No.2 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 15 番	2
ドゥセック作曲 ソナチネ Op.20 No.1 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 1 巻第 17 番	1
*ソナチネ・アルバム第二巻	3
クレメンティ作曲 ソナチネ Op.38 No.3 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 2 巻第 9 番	1
ベートーヴェン作曲 ソナチネへ長調 Anh.5 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 2 巻第 11 番	1
ディアベリ作曲 ソナチネ Op.151 No.3 第 1 楽章『ソナチネ・アルバム』第 2 巻第 15 番	1
*上記以外	5
中田喜直作曲 土人のおどり	2
モーツァルト作曲 ソナタ K.547a 第 1 楽章	1
モーツァルト作曲 ソナタ K.331 第 3 楽章「トルコ行進曲」	1
ディアベリ作曲 ソナチネ Op.168 No.1 第 1 楽章	1

の間には歴然とした差が見られる試験結果となった。特にピアノを苦手とする学生にとって、長期休暇の過ごし方が重要となってくるが、地道な努力をすることが難しいのが現状である。一年次の授業終了時に春休みの課題を出しているが、ただ課題を出すだけでなく、2 年次前期の予定を示し、学生自身が計画的に練習できるカルテを作成するなど工夫が必要である。

また、選曲についても大いに考えさせられる試験で

あった。難易度と完成度のバランス、演奏時間、この 3 点を、学生の個性、能力に合わせて、より慎重に曲を与えなければならない。

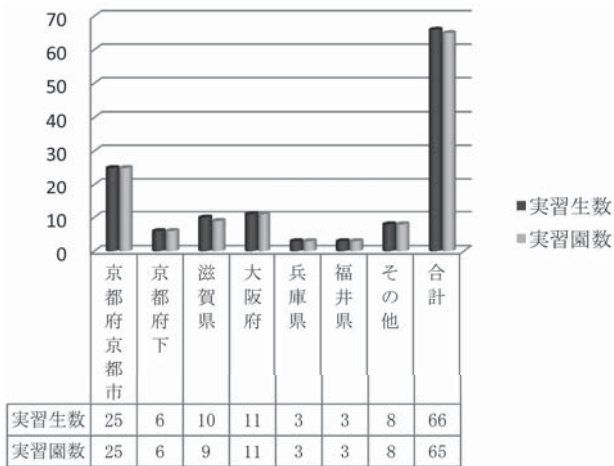
2. アンケート調査結果と考察

(1) 保育所実習Ⅱ実施期間と実習園所在地

保育所実習Ⅱを終えた学生のうち、アンケート有効回答者数は 66 名であった。実習園数は 65 園、実習期

間は平成 26 年 7 月 7 日から 7 月 19 日が 47 名、平成 26 年 7 月 14 日から 7 月 26 日が 19 名である。実習園の所在地は表 5 のとおりである。

表 5 保育所実習Ⅱ園所在都道府県別
実習生数・実習園数



(2) 保育所実習Ⅱ中、実習園で歌われていた幼児歌曲 保育所実習Ⅱ期間中に実習園で歌われていた幼児歌曲は全 111 曲にのぼった。平成 26 年度上位使用曲は表 6 のとおりである。なお、参考資料として全 111 曲のリスト（補助資料参照）は論末に掲載する。

ランキングされた曲のうち 15 曲が、本学で使用している幼児歌曲リストに含まれていることから、授業内容が実習中はもちろんのこと現場で活かされる内容であると評価できる。ちなみに昨年度の上位使用曲は表 7 のとおりであり、半数以上の曲が今年度と同じであることから、普遍的に歌われている曲が多いといえる。

実習期間中に 7 月 7 日の七夕行事を迎えたり、プールに入ったりする機会が含まれることから、予想通り、季節や行事の定番曲（「たなばたさま」や「みずあそび」）がランクインしている。その一方で、保育所では保育の対象とする年齢が幅広いため、授業で使用している楽譜に掲載されていない比較的平易な曲目が多く含まれていることも特徴である。アンケート調査自由記述欄に、「大学の授業で習った曲が多かった。」と「知ら

表 6 平成 26 年度保育所実習Ⅱ使用曲ランキング

No.	曲名	使用園数
1	みずあそび	21
2	おばけなんてないさ	16
3	おはよう	15
4	しゃぼんだま	13
5	おかえりのうた	11
6	アイスクリーム	10
4	にじ	9
5	たなばたさま	8
6	かえるのがっしょう	7
10	すいかのめいさんち*	6
10	さんぽ	6
12	トマト*	5
12	おべんとう	5
12	アイスクリームのうた	5
15	きらきらぼし*	4
15	おとうばん	4
15	園歌*	4
15	うみ	4
15	あめふりくまのこ	4

*は本学使用、幼児歌曲リストに含まれない曲

表 7 平成 25 年度保育所実習Ⅱ使用曲ランキング

No.	曲名	使用園数
1	たなばたさま	29
2	おはよう	28
3	みずあそび	27
4	おかえりのうた	18
5	アイスクリーム	15
6	おべんとう	13
6	おやつのうた*	13
6	かえるのがっしょう	13
9	とんぼのめがね	12
10	しゃぼんだま	11
11	きらきらぼし*	10
12	おばけなんてないさ	9
12	さよならのうた	9
12	みなみのしまのハメハメハ	9
15	アイスクリームのうた	7
15	うみ	7
15	かたつむり	7
18	うちゅうせんとうた*	4
18	にじ	4
18	ののさま	4
18	ぼくのミックスジュース	4

*は本学使用、幼児歌曲リストに含まれない曲

ない曲を知ることができて良かった。」という正反対のコメントが寄せられた。

幼稚園実習で使用曲ランキングの上位半数を占めた生活曲であるが、保育所実習では「おはよう」、「おべんとう」、「おかえりのうた」、「おとろばん」の主要4曲止まりで、その他は季節にちなんだ曲がたくさん歌われていた。

(3) 保育所実習Ⅱ後の学生の感想

実習中に音楽活動で感じた感想として、55名の学生から回答があった。多く見られた感想は、「子どもの方を見ながら弾き歌えるようになりたい」、「幼児歌曲のレパートリーを拡大したい」、「毎日の練習が大切」、「大学で習っていたので安心」、「手遊びのレパートリーが役立った」であり、去年と全く同じ傾向であった。今年新たな感想としては、「楽しかった、嬉しかった」が多数あり、学生が楽しんで保育に携われたことは喜ばしいことである。

考察しやすいよう以下の2カテゴリーに分類し、学生の自由記述を原文のまま挙げる。

① 大学での学びについて

- ・大学で聞いた歌が多かった。
- ・大学で練習した曲を実習で使うことができて良かったです。もっといろいろな曲に挑戦したいです。
- ・学校で弾き歌いの曲を多く練習しておいたこと、必死に歌ったことは力になっています。
- ・手遊びはレパートリーが増えたので良かったです。子供たちが楽しんでやってくれたので、それも良かったですし嬉しかったです。
- ・生活曲をやっておいて良かった。
- ・コードをやっていたため、初見の曲もあったけど、なんとかとまらず弾くことができた。
- ・音楽の授業は個人で練習する時間がたくさんあり、園で頂いた課題の相談にもものって頂いたので、実習には十分練習した状態でいくことができました。ですが、いざ弾く時になると緊張してしまっただけで自分の思い通りにいかないことが多かったので、悔しい思いをすることがありました。

② 実習での学びについて

- ・大学で習わなかった曲を新たに知ることができて良かったです。
- ・保育者がまず楽しみながら子どもたちに伝えるのが大切だと思いました。
- ・皆、音楽が好きであるということがわかった。
- ・初めて実習で一度も間違わずに弾けてうれしかった。
- ・音楽活動をしている時の子どもの顔が楽しそうだったし、子どもたちが楽しむにはどうすればよいか考えておられて、とても参考になった。
- ・まちがえても弾き続けることの大切さを感じました。
- ・良い点→音一つで子どもたちが集中してくれた。反省点→もうちょっと練習する必要がある。
- ・いろいろな曲を連続で弾くからその練習がいると思う。
- ・1年生の頃から毎日ピアノにさわって、ピアノのレパートリーをもっと増やしておくべきだと思った。
- ・もう少し子どもたちの様子を見ながらピアノを弾く配慮ができればと思った。
- ・子どもたちが歌えるように歌詞をあらかじめ伝える(ピアノを弾きながら)ことを求められたのが、少し難しかったが対応した。

今年の自由記述の特徴は、全体的に自己肯定感が感じられ、否定的な言葉が少なかったことが挙げられる。力不足を感じながらも、実際の保育現場を経験し、子どもたちと音楽を楽しむにはどうすれば良いか、学生なりに前向きに課題を捉えていることがわかった。

また、「定番の生活曲をいつでも弾き歌える」ことが、多くの学生にとって支えとなっていることがアンケート調査からわかった。学生は成功体験が励みとなり、さらなる意欲を持つ傾向にある。実習で初めて子どもたちの前でピアノを弾き歌う経験は、学生にとって大きな緊張を伴うものである。まずは、「生活曲はいつでも弾ける。」と自信が持てるよう、今年の1年生からは暗譜で手元を見ずに弾けるよう指導を強化する必要がある。

3. 本学学生の現状と今後の課題

授業の取り組み状況と実習後のアンケート調査結果

から、本学の学生が、保育者として求められる音楽表現活動ができる能力を着実に身につけていくことがわかった。実践実習を通して、子どもたちと音楽を楽しむことができた学生がいたことは喜ばしいことである。また、普段よりピアノの得意な学生を囲んでグループで楽しく歌う姿が見られることから、学内に音楽を楽しむ環境が育っているといえる。

実習園へ巡回に伺った際の学生との面談から多くのことを教えられた。「ピアノは小さい時に少し習っていたけれど、入学した時は全く自信がなくて、練習も面白くなかった。でも、周りのピアノの得意な友達が熱心に練習しているのを見て、私もあんなふうにピアノが弾けたら、と憧れて毎日練習するようになったら、弾ける曲がだんだん増えてきて、弾けたら嬉しくて練習が楽しくなってきた。気がついたら入学して一年経っていて、自分でも驚くほど弾けるようになってびっくりしている。楽しくなるきっかけは、初心者だからといって簡単な曲ばかりでなく、少しハードルが高いけれど、自分が子どもと一緒に歌ってみたいと思える曲にチャレンジして、その曲が弾けるようになったこと。今回の幼稚園、保育所実習で、先生が歌ったように子どもたちは歌うことや、ピアノ伴奏の表現力がそのまま子どもたちの音楽表現に影響することがわかった。本当に教えることはすごいことなのだと感じたので、今まで以上に練習をがんばって、もっともっと子どもたちと楽しみたい。」と生き生きと話した学生が印象的である。

一方で課題も浮き彫りとなった。実習で設定保育をさせて頂く際に、一から準備する学生が多い。レパートリーとした幼児歌曲を使って、何を子どもたちに伝えるか、子どもたちと何をして楽しむか、なかなか指導につなげていくことが難しい。今後は、試験選択曲の一曲について、「この曲を使ってどのような保育をするのか」等のレポート課題を設けることで、学生のイメージーションと引き出しを増やす指導が急務である。このことは手遊びにも共通する課題である。レパートリーを増やすことはもちろんであるが、一曲を使って声かけやスピード、身体の使い方など、工夫次第で様々な保育が展開できることに気づける学生を育てていかなければならない。そのためにも、表現活動のクロスカリキュラムを積極的に取り入れた指導を展開していきたい。

Ⅳ おわりに

本研究の目的であった、本学のカリキュラムが保育現場で求められる音楽活動に適しているかは、一定の効果をもっていることがわかった。今回の研究を通して明らかとなった課題についても、謙虚に受け止め、教員が共通理解を持って改善に努めていく。

次年度は、現在実技試験後に行っているピアノ個人レッスン担当教員による講評を記録し、学生のみならず指導者の意見を考察することで、今後のカリキュラム改善に活かしていきたい。

注

- 1) 田中慈子：幼稚園教育実習前の音楽指導に関する一考察 - 幼小連携に対応できる保育者養成をめざして -、京都光華女子大学短期大学部研究紀第51集、p99-p108 (2013)

補助資料 保育所実習Ⅱの期間中、歌われていた幼児歌曲全 111 曲（有効回答：N = 66、65 園）

ランキング	幼児歌曲名	使用数	ランキング	幼児歌曲名	使用数
1	みずあそび	21	45	ことりのうた	1
2	おばけなんてないさ	16	45	三婦依	1
3	おはよう*	15	45	しあわせならてをたたこう	1
4	しゃぼんだま	13	45	すうじのうた	1
5	おかえりのうた	11	45	すなのおしろ	1
6	アイスクリーム	10	45	セミのうた	1
4	にじ	9	45	たかくなれ たかくなれ	1
5	たなばたさま	8	45	ダンゴムシのうた	1
6	かえるのがっしょう	7	45	てのひらをたひょうに	1
10	さんぽ	6	45	手をつなごう	1
10	すいかのめいさんち	6	45	どきどきわくわくおはよう	1
12	アイスクリームのうた	5	45	どこでしょう	1
12	おべんとう	5	45	ともだちは大事やで	1
12	トマト	5	45	どんぐりおんど	1
15	あめふりくまのこ	4	45	なつだよプールだよ	1
15	うみ	4	45	なつのおもいで	1
15	園歌	4	45	なつはどうしてたのしいか	1
15	おとうばん	4	45	なつやすみ	1
15	きらきらぼし	4	45	なみとかいながら	1
20	ありさんのおはなし	3	45	ねね	1
20	うたえバンバン	3	45	ののさまに	1
20	おかたづけ	3	45	のりものあつまれ	1
20	おつかいありさん	3	45	バイナップルのせんすいかん	1
20	おやつ	3	45	はしるのだいすき	1
20	かたつむり	3	45	バスごっこ	1
20	くじらのとけい	3	45	はとぼっぼ	1
20	さよならのうた	3	45	バナナのうた	1
20	世界中のこどもたちが	3	45	ぼんだうさぎこあら	1
20	とんぼのめがね	3	45	パンやさんのおかいもの	1
20	夏のうた	3	45	プールで泳ごう	1
20	南の島のハメハメハ大王	3	45	プールのうた	1
32	いぬのおまわりさん	2	45	ペンギンちゃん	1
32	おたんじょうび	2	45	ほうけんにいこう	1
32	おむねをはりましょ	2	45	ほくのミックスジュース	1
32	おもちゃのチャチャチャ	2	45	みぎてどっち	1
32	今日も元気	2	45	みんなでいこう	1
32	さよならさんかく	2	45	むすんでひらいて	1
32	ぞうさん	2	45	もえろよもえろ	1
32	とけいのうた	2	45	ヤンチャリカ	1
32	にじのむこうに	2	45	夢をかなえてドラえもん	1
32	はたらくるま	2	45	曜日	1
32	ひまわり	2	45	レインボースカイ	1
32	仏教曲	2			
32	黙想の曲	2			
45	1,2,3のごあいさつ	1			
45	Let's Go	1			
45	アイアイ	1			
45	あくしゅでこんにちは	1			
45	アナと雪の女王 ありのまま	1			
45	あまだれぼたん	1			
45	あめ	1			
45	いちご	1			
45	宇宙船のうた	1			
45	えんそくバス	1			
45	おあかりあげて	1			
45	おうま	1			
45	大きな栗の木の下で	1			
45	大きな古時計	1			
45	おおさかうまいものうた	1			
45	おしょくじのうた	1			
45	おたまじゃくし	1			
45	おひさまにジャンプ	1			
45	おへそ	1			
45	きつとできる	1			
45	キャンプだホイ	1			
45	きゅっきゅっきゅっ	1			
45	京都の通りの名前の曲	1			
45	きれいですか	1			
45	くいしんぼうのおばけのこ	1			

注) ※の「おはよう」は様々な種類があり、アンケート回答からは判別不可能。